

2018年 第65回応用物理学会春季学術講演会

2017年度講演会企画運営委員長 平本 俊郎

春季学術講演会が、2018年3月17日(土)から20日(火)までの4日間、早稲田大学西早稲田キャンパス(口頭講演会場)、ベルサール高田馬場(ポスター講演・展示会場)で開催されました。

今回の総参加者数は7177名で、昨年春と比べ、46名の増加となり、大変多くの方にご参加いただきました。ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

当初、口頭講演会場とポスター講演・展示会場との距離が懸念されましたが、移動途中にある戸山公園では桜も咲き始め、桜の木の前で立ち止まり写真を撮る参加者の姿も見られ、セッションの合間のよい息抜きになったのではと思います。

特別シンポジウム、分科企画・公募シンポジウムはいずれも現在ホットな話題や重要になりつつある話題を取り上げており、最新の話題が短時間に理解できることから、応用物理学会講演会の顔となっています。今回の講演会では、合計8件の特別シンポジウムが開催されました。ノーベル物理学賞受賞者の小林誠先生がご講演された「物質と宇宙の基礎研究とそれがもたらす最先端産業技術」では300名超、インダストリアルチャプター企画の「幸運の前髪を掴む～女神には前髪しかない～」では240名を超える聴講者を集め、立ち見が出るほど盛況でした。また、分科企画シンポジウム、公募シンポジウムも合計32件開催され、いずれも多くの聴講者を集め、活発に議論されました。

また、シンポジウム、14の大分類と、2つの合同セッションで、合計4163件の講演がプログラムされ、口頭発表：2873件、ポスター発表：1290件が行わ

れました。大分類別に投稿件数を図1にまとめました。

登壇者の所属を基に投稿機関数を分類すると、大学等82%、企業8%、国・研究機関9%、その他1%で、前回春と同程度でした。

講演会では、口頭講演、ポスター講演のほかにチュートリアルも行っています。チュートリアルは、当該分野を学び直してみようという方のほか、新たにその分野を学ぼうという方を対象とし、基礎から応用までを、講師に2時間30分にわたってわかりやすくお話しいただいています。今回は初日に4件実施しました。引き続き、時宜にかなったテーマを選定し魅力あるチュートリアルを企画して参ります。

講演会会期中に実施しております“Poster Award”では、ノミネートポスターを慎重に審査した結果、26件をPoster Awardとして選定し、ポスター会場の入り口に受賞ポスターを掲示いたしました。ご協力いただきました方々には大変感謝するとともに、次回も是非投票にご協力くださいますようお願いいたします。

また、Poster Awardと同じく講演会会期中に“JSAP Photo and Illustration Contest”を展示会場にて実施しました。いずれも、芸術性を踏まえて、意外性、偶然性ありの素晴らしいワンカットで、多くの参加者の注目を集めていました。この企画では、参加者の投票により、最優秀賞1作品、優秀賞2作品が選ばれました。

講演会の企画運営では、参加者の皆様へのサービス向上を意図して、ITの積極的な活用にも注力しています(講演会アプリの提供やTwitter・Facebookによる情報発信)。

最後になりましたが、今回の講演会



ポスター会場のベルサール高田馬場 イベントホール入口

は、会場となった早稲田大学、また日本女子大学の教職員で構成された現地実行委員会による1年間にわたる準備と、早稲田大学職員の皆様の多大なるご協力、アルバイトの学生さんたちのご活躍のおかげをもちまして、全ての行事を滞りなく進めることができました。現地実行委員長の宇高勝之先生をはじめ、現地実行委員会の諸先生には深く感謝申し上げます。また、今回ご協力いただいた関係者の方々に、厚く御礼申し上げます。

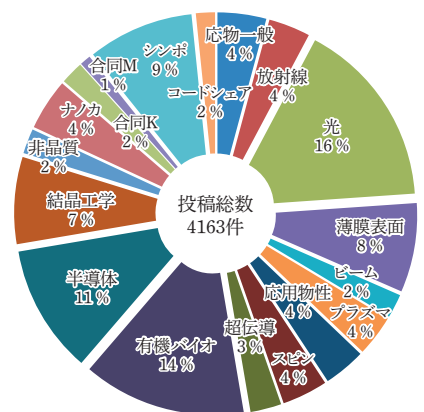


図1 第65回応用物理学会春季学術講演会 分科別講演件数割合。各大分類の値には若干の誤差があります。